

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスポット相模原淵野辺店	階数	地上3F
建設地	相模原市中央区淵野辺五丁目922-29他	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、法22条の区域	平均居住人員	360,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,980 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2016年2月3日
敷地面積	6,176 m ²	作成者	株式会社ヤマダデザイン
建築面積	4,936 m ²	確認日	
延床面積	9,995 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合	ホームセンターとして地域活性化に繋がるよう、利便性に配慮した計画とする。	0
Q1 室内環境	室内の空気質を健全に保ち、利用者の快適性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) 景観法を遵守し、周辺地域に対して配慮する。
LR1 エネルギー	高効率設備機器の導入し、エネルギー消費量を削減する。外皮周りの断熱材により空調負荷を軽減し、空調エネルギー削減を図る。	LR3 敷地外環境 大規模小売店舗立地法に則り、駐車場、駐輪場は適切な台数を確保することで過剰な交通負荷が発生しないようにする。運用時のCO ₂ 排出量を抑制する。
Q2 サービス性能	天井高さを十分に確保し、広々とした空間とする事で利用者の心理性に配慮する。更新間隔の優れた建材や配管材を用い、建物の長寿命化を図る。プランニングの変更がし易い計画とし、将来の用途変更等に対応できるようにする。	
LR2 資源・マテリアル	水栓及び便器は節水仕様とし、水資源の保護を図る。断熱材はノンフロン仕様とし、温暖化抑制を図る。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される